



本会記事

■「第51回プラズマ若手夏の学校」報告

第51回校長 高橋宏幸（東北大学工学研究科）

今年度のプラズマ若手夏の学校は、東北大学が幹事校となり、2012年8月20日・23日の日程で山形蔵王温泉にある「たかみや瑠璃倶楽リゾート」にて開催されました。学部学生から博士課程の学生までの学生29名、講師8名の総勢37名が参加しました。以下に報告いたします。

プラズマ・核融合研究の第一線でご活躍中の先生方をお招きし、基礎から応用までを含めた講演をしていただきました。自身の研究テーマと異なる分野の講義に触れることで他分野に対する知識・理解を深めるとともに、日頃の研究への刺激となるよう幅広い分野の中から、8つのトピックを厳選しました。

吉村信次先生（核融合研）からは、様々あるプラズマ中の不安定性の中でも特に2流体性不安定性についての詳しい講演をしていただきました。赤塚洋先生（東工大）からは、分光計測の基礎から窒素プラズマ診断への応用をお話していただきました。三瓶明希夫先生（京都工繊大）からは、非中性プラズマの紹介からプラズマの自己組織化過程研究についての講演をいただきました。北野勝久先生（阪大）には、大気圧低温プラズマを用いたプラズマのバイオ

応用についてご紹介していただき、実際に作成した装置も見せていただきました。神藤勝啓先生（原子力機構）からは、国際核融合材料照射施設IFMIFとその重陽子線形加速器の概要やBA活動の一つであるIFMIF/EVEDA事業についてのお話していただきました。古賀麻由子先生（兵庫県立大）からは、レーザー核融合の原理や、レーザー核融合研究で重要なX線計測についてお話していただきました。中島徳嘉先生（核融合研）からは、MHDモデルの理論的基礎から実際のシミュレーション結果を通して核融合研究に対してシミュレーション研究の果たす役割をご紹介いただきました。宮澤順一先生（核融合研）からは、ITER以降の核融合原型炉設計に関して、ヘリカル炉の視点からお話していただきました。

今回は、学生同士の議論を多く行うことを目的として、ポスターセッションを2日間設けており、今後の研究につながる実りの多い議論を行うことができました。また、懇親会を通じて、講師の先生方や学生同士の親睦を深めることができました。

来年のプラズマ若手夏の学校は日本大学が幹事校となり開催される予定です。



■訂正

学会誌第88巻8月号掲載の小特集「磁場閉じ込め核融合施設における電磁環境と安全指針 5.2 電磁界と電子機器との相互作用」の英文タイトルに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正：Interaction of Electromagnetic Field and Electronic Equipment

誤：Interaction of Electromagnetic Field and Electronic Equipments